

学校教育で地学は生き残れるか？： 学会と教育現場との連携に向けて

共催：日本地学教育学会，日本理科教育学会，日本科学教育学会
後援：日本地質学会，日本地球惑星科学連合，早稲田大学教育・総合科学学術院

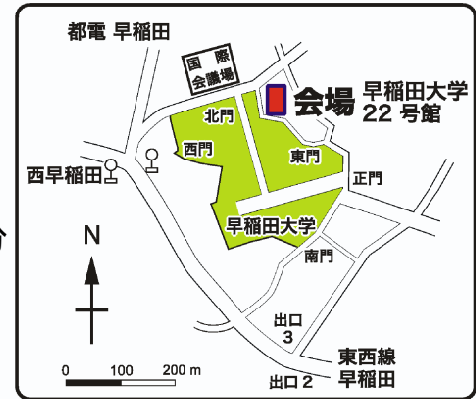
日時：2010年6月19日(土)

13:00～18:00

場所：早稲田大学22号館202教室

国際会議場斜め向かい，北門の外側です

JR高田馬場駅より学バス「早大正門」行きで「西早稲田」下車徒歩5分
または地下鉄東西線早稲田駅下車徒歩15分



第1部 歴史と未来

林慶一（甲南大）「戦後の日本の地学教育の流れ」

田代直幸（国立教育政策研究所）「新教育課程とこれからの理科教育・地学教育」

中野真理（神奈川県教育委員会）「神奈川県における理科教員の採用について」

第2部 現状と課題

中野英之（地学教育学会，京都教育大）「原体験・ものづくりを通して生活と地学のつながりを考える」

遠西昭寿（理科教育学会，愛知教育大）「地学教育をめぐる諸問題」

講演者調整中（科学教育学会）「科学教育の現状と課題：総論（仮題）」

渡邊正人（川崎市立川中島小）「梶ヶ谷の大地を探る子どもたち ー小学校理科（地学）への私見ー」

高橋和光（江戸川区立小松川二中）「中学校の教育現場からみた地学教育について」

宮嶋一敏（埼玉県立深谷一高）「高校地学の開講に向けて ー専門外教員から敬遠されていた理由と対策ー」

宇野康司（岡山大）「地学教育・理科教育・科学教育の現状と課題：大学教員養成課程の現場から」

川村教一（秋田大）「大学入試科目としての高校地学」

第3部 総合討論：学会と教育現場との連携に向けてできること，すべきことは何か？

川上伸一（理科教育学会，岐阜大）

「魅力的な教材開発・アウトリーチ活動を通じた地球惑星科学と理科教育の連携」

コメント：遠藤邦彦（第四紀学会，日本大），牧野泰彦（地学教育学会，茨城大），

コメンテーター調整中（科学教育学会），畠山正恒（地球惑星科学連合，私立聖光学院高），

藤林紀枝（地質学会，新潟大）

同日開催 2009年度学会賞・学術賞受賞者講演

学術賞 小疇 尚（明治大名誉教授）10:05-10:45

「山岳地域・極地における氷河・周氷河地形に関する研究」

学会賞 小野 昭（副会長，明治大特任教授）10:45-11:25

「旧石器時代の人類活動と自然環境」

** 問合せ先 **

植木岳雪（産業技術総合研究所）

〒305-8567

茨城県つくば市東1-1-1中央第7

Tel. 029-861-9126

Fax. 029-861-3653

E-mail. gakusetsu-ueki@aist.go.jp